

(2) 今期の景況と来期の見通し

製 造 業

業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は△31.2 で前期比 11.3 ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△37.2 で 9.6 ポイント増、受注残は△32.7 で 9.0 ポイント増、収益は△34.3 で 16.3 ポイント増といずれも大幅に減少・減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は厳しさがやや和らぎ、売上額、受注残、収益はいずれも減少・減益幅が大幅に縮小する見込み。

業種別でみると、業況は、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともに大きく厳しさが和らぎ、「金属製品・建設用金属製品」はやや低調感が強まった。売上額は、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」は、ともにかなり減少幅が縮小し、「金属製品・建設用金属製品」は若干改善した。受注残は、「電気機械器具」は大きく改善し、「一般機械器具・金型」は多少減少が一服し、「金属製品・建設用金属製品」はやや減少幅が拡大した。収益は、「金属製品・建設用金属製品」は極端に減益幅が縮小し、「電気機械器具」は若干持ち直し、「一般機械器具・金型」は大きく減益を強めた。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は△8.0 で 5.7 ポイント増と大きく下降傾向が弱まり、原材料価格は 8.6 で 13.2 ポイント増と上昇に転じ、在庫は△8.8 で 5.0 ポイント増と幾分不足感が改善した。来期の見通しについては、販売価格は下降傾向がやや弱まり、原材料価格は上昇傾向が多少強まり、在庫は不足感が若干改善する見通し。

業種別でみると、販売価格は、「一般機械器具・金型」は大きく下降傾向が弱まり、「金属製品・建設用金属製品」はほぼ横這いで推移し、「電気機械器具」は前期同様の低下基調となった。原材料価格は、「電気機械器具」は上昇に転じ、「一般機械器具・金型」は大幅に下降傾向が弱まり、「金属製品・建設用金属製品」は前期並の上昇が続いた。在庫は、「一般機械器具・金型」はかなり不足感が改善して適正水準となり、「電気機械器具」は前期並の不足感が続き、「金属製品・建設用金属製品」は大きく過剰感が強まった。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは△17.5 で 7.0 ポイント増とかなり窮屈感が緩和した。借入難易度は 0.0 で 8.2 ポイント減と大幅に容易さが縮小した。借入をした企業は 22.2% で 3.5 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 6.9% で 0.1 ポイント増加した。来期の見通しについて、資金繰りは今期同様の厳しさで推移し、借入をする企業はかなり減少し、設備投資を実施する企業は今期同様変わらない見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「電気機械器具」は大きく窮屈感が緩和し、「一般機械器具・金型」は前期同様の苦しさとなり、「金属製品・建設用金属製品」はやや厳しさが増した。借入難易度は、「一般機械器具・金型」はかなり楽になり、「電気機械器具」は大きく後退し、「金属製品・建設用金属製品」は極端に容易さが縮小した。今期借入をした企業は、「電気機械器具」は大きく増加し、「金属製品・建設用金属製品」はやや減少し、「一般機械器具・金型」は大幅に減少した。設備投資を実施した企業は、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに大幅に増加し、「一般機械器具・金型」は前期同様変わらずであった。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で48.6%となった。2位は「原材料高」で22.2%、3位は「同業者間の競争の激化」で16.7%となった。以下、4位は「販売納入先からの値下げ要請」が11.1%、5位は「利幅の縮小」が9.7%となった。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で55.6%となった。2位は「経費を節減する」で48.6%、3位は「情報力を強化する」で13.9%となった。以下、4位は「新製品・技術を開発する」が9.7%、5位は「人材を確保する」が8.3%となった。

業種別動向

(1) 金属製品、建設用金属製品

業況は△22.0で前期比2.7ポイント減とやや低調感が強まった。収益は△24.7で21.6ポイント増と極端に減益幅が縮小し、売上額は△45.4で1.5ポイント増と若干改善し、受注残は△23.9で2.7ポイント減とやや減少幅が拡大した。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、収益、売上額はともに改善し、業況、受注残はともに悪化した。価格動向については、販売価格は△1.0で1.4ポイント減とほぼ横這いで推移し、原材料価格は13.3で1.4ポイント増と前期並の上昇が続いた。在庫は10.7で10.0ポイント増と大きく過剰感が強まった。資金繰りは△9.2で4.3ポイント減とやや厳しさが増し、借入難易度は0.0で20.0ポイント減と極端に容易さが縮小した。借入をした企業は11.1%で3.2ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は11.1%で11.1ポイント増加した。

来期の見通しについては、業況は今期同様の厳しさが続く見込み。収益は極端に改善し、売上額、受注残はともに減少幅が大きく縮小する見通し。販売価格は変動なく推移し、原材料価格は今期並の上昇が続くと見込まれる。在庫は今期並の過剰感が続き、資金繰りは今期同様の苦しさで推移し、設備投資をする企業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で55.6%、2位は「原材料高」で22.2%、3位は「同業者間の競争の激化」「販売納入先からの値下げ要請」「工場・機械の狭小・老朽化」「下請の確保難」「代金回収の悪化」「地場産業の衰退」がいずれも11.1%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で55.6%、2位は「経費を節減する」で33.3%、3位は「情報力を強化する」で22.2%となった。

(2) 一般機械器具、金型

業況は△39.5で前期比9.7ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△41.5で6.4ポイント増とかなり減少幅が縮小し、受注残は△43.6で3.4ポイント増と多少減少が一服し、収益は△44.6で7.0ポイント減と大きく減益を強めた。今期の「一般機械器具、金型」は、業況、売上額、受注残は改善し、収益は悪化した。価格動向については、販売価格は△8.5で9.5ポイント増、原材料価格は△0.4で15.8ポイント増とともに大幅に下降傾向が弱まった。在庫は△0.1で18.2ポイント増とかなり不足感が改善して適性水準となった。資金繰りは△27.0で0.2ポイント増と前期同様の苦しさとなり、借入難易度は28.6で6.4ポイント増とかなり楽になった。借入をした企業は11.1%で16.2ポイント減と減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は0.0%と前期同様変わらずであった。

来期の見通しについては、業況は厳しさが大きく和らぐ見込み。売上額は極端に減少幅が縮小し、受注残、収益はともに大きく改善する見通し。販売価格は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格は変動なく推移するとみられる。在庫は今期同様適正範囲に保たれ、資金繰りは窮屈感が大きく緩和し、設備投資をする企業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で33.3%、2位は「利幅の縮小」「原材料高」

「販売納入先からの値下げ要請」がいずれも11.1%となった。重点経営施策については、1位が「販路を広げる」で44.4%、2位は「経費を節減する」で22.2%、3位は「教育訓練を強化する」で11.1%となった。

(3)電気機械器具

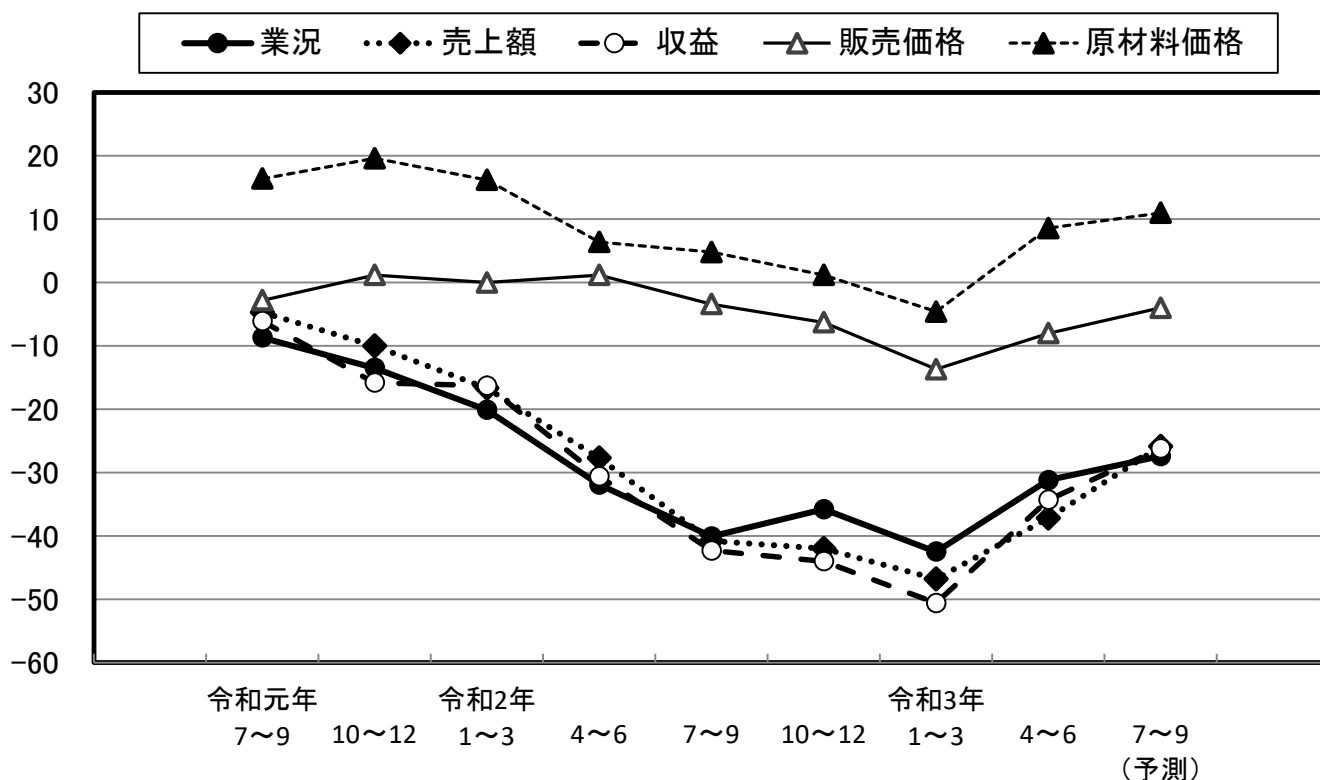
業況は△13.8で前期比8.5ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△22.1で6.1ポイント増、受注残は△9.6で16.7ポイント増とともにかなり減少幅が縮小し、収益は△24.0で3.7ポイント増と若干持ち直した。

価格動向については、販売価格は△22.0で0.4ポイント増と前期同様の低下基調となり、原材料価格は8.2で21.8ポイント増と上昇に転じた。在庫は△14.9で増減なく前期並の不足感が続いた。資金繰りは△0.4で19.4ポイント増と大きく窮屈感が緩和し、借入難易度は16.7で13.3ポイント減と大きく後退した。借入をした企業は41.7%で10.9ポイント増加し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は8.3%と8.3ポイント増加した。

来期の見通しについては、業況は低調感が大きく強まる見込み。売上額、受注残、収益はいずれも減少・減益幅がかなり拡大する見通し。原材料価格は上昇傾向が大幅に弱まり、販売価格は今期並の下降が続くとみられる。在庫は今期同様の不足感が続き、資金繰りは厳しさが大きく増し、設備投資を実施する企業は大きく減少する見込み。

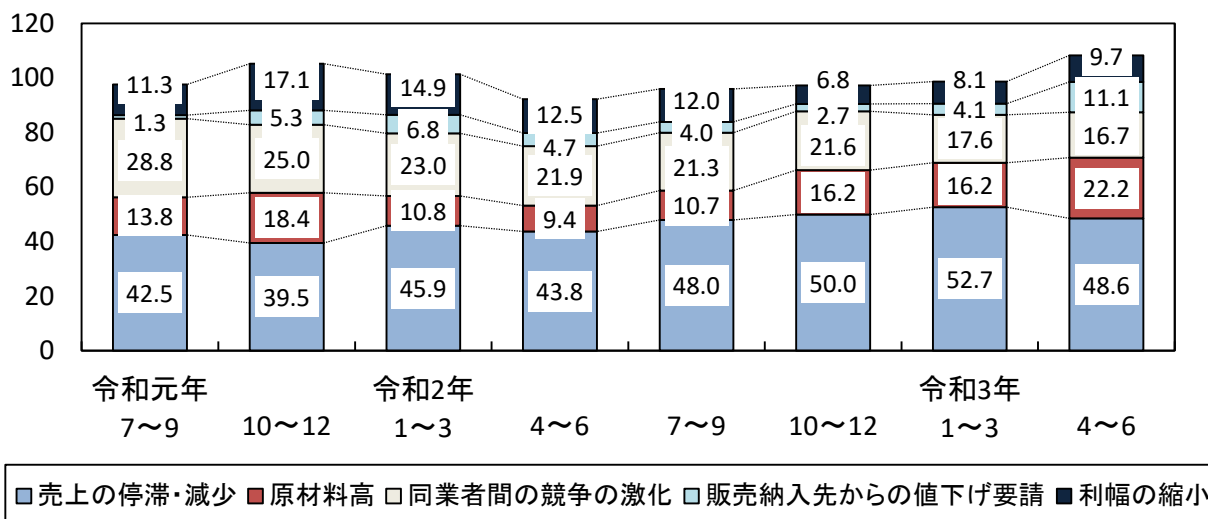
経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で50.0%、2位は「原材料高」で25.0%、3位は「人手不足」「販売納入先からの値下げ要請」でともに16.7%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で41.7%、2位は「販路を広げる」で33.3%、3位は「新製品・技術を開発する」「人材を確保する」でともに16.7%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

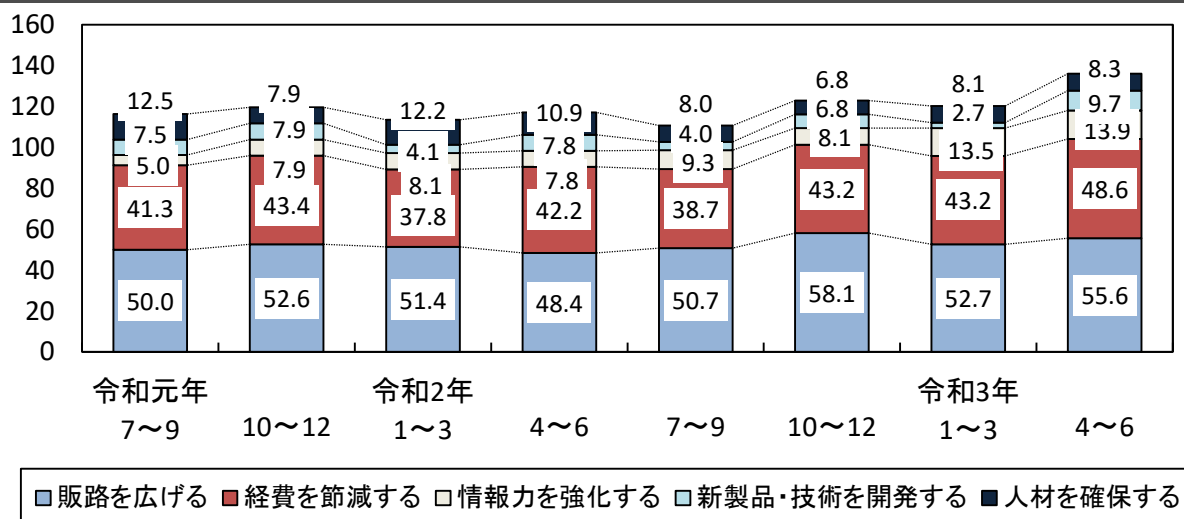


製 造 業 経 営 上 の 問 題 点 (%)

	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 48.0 %	売上の停滞・減少 50.0 %	売上の停滞・減少 52.7 %	売上の停滞・減少 48.6 %
第2位	同業者間の競争の激化 21.3 %	同業者間の競争の激化 21.6 %	同業者間の競争の激化 17.6 %	原材料高 22.2 %
第3位	利幅の縮小 12.0 % 人手不足 12.0 %	原材料高 16.2 %	原材料高 16.2 %	同業者間の競争の激化 16.7 %
第4位	原材料高 10.7 %	人手不足 12.2 %	人手不足 13.5 %	販売納入先からの値下げ要請 11.1 %
第5位	生産能力の不足 5.3 %	利幅の縮小 6.8 %	利幅の縮小 8.1 %	利幅の縮小 9.7 %



製 造 業 重 点 経 営 施 策 (%)



	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期
第1位	販路を広げる 50.7 %	販路を広げる 58.1 %	販路を広げる 52.7 %	販路を広げる 55.6 %
第2位	経費を節減する 38.7 %	経費を節減する 43.2 %	経費を節減する 43.2 %	経費を節減する 48.6 %
第3位	情報力を強化する 9.3 %	情報力を強化する 8.1 %	情報力を強化する 13.5 %	情報力を強化する 13.9 %
第4位	人材を確保する 8.0 %	人材を確保する 6.8 % 新製品・技術を開発する 6.8 %	提携先を見つける 9.5 %	新製品・技術を開発する 9.7 %
第5位	提携先を見つける 6.7 %	不採算部門を整理・縮小する 4.1 % 提携先を見つける 4.1 % 教育訓練を強化する 4.1 %	人材を確保する 8.1 %	人材を確保する 8.3 %

卸 売 業

業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は△38.6で前期比9.4ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△33.7で16.8ポイント増、収益は△32.8で9.7ポイント増とともにかなり減少・減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は今期同様の苦しさで推移し、売上額は大幅に持ち直し、収益は若干改善する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は1.1で5.9ポイント増、仕入価格は10.5で11.5ポイント増とともに上昇に転じた。在庫は△12.1で23.3ポイント減と過剰から品薄に極端に転じた。来期の見通しについては、販売価格はほぼ横這いで推移し、仕入価格は上昇傾向が大きく強まる見通し。在庫は不足感がわずかに改善する見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

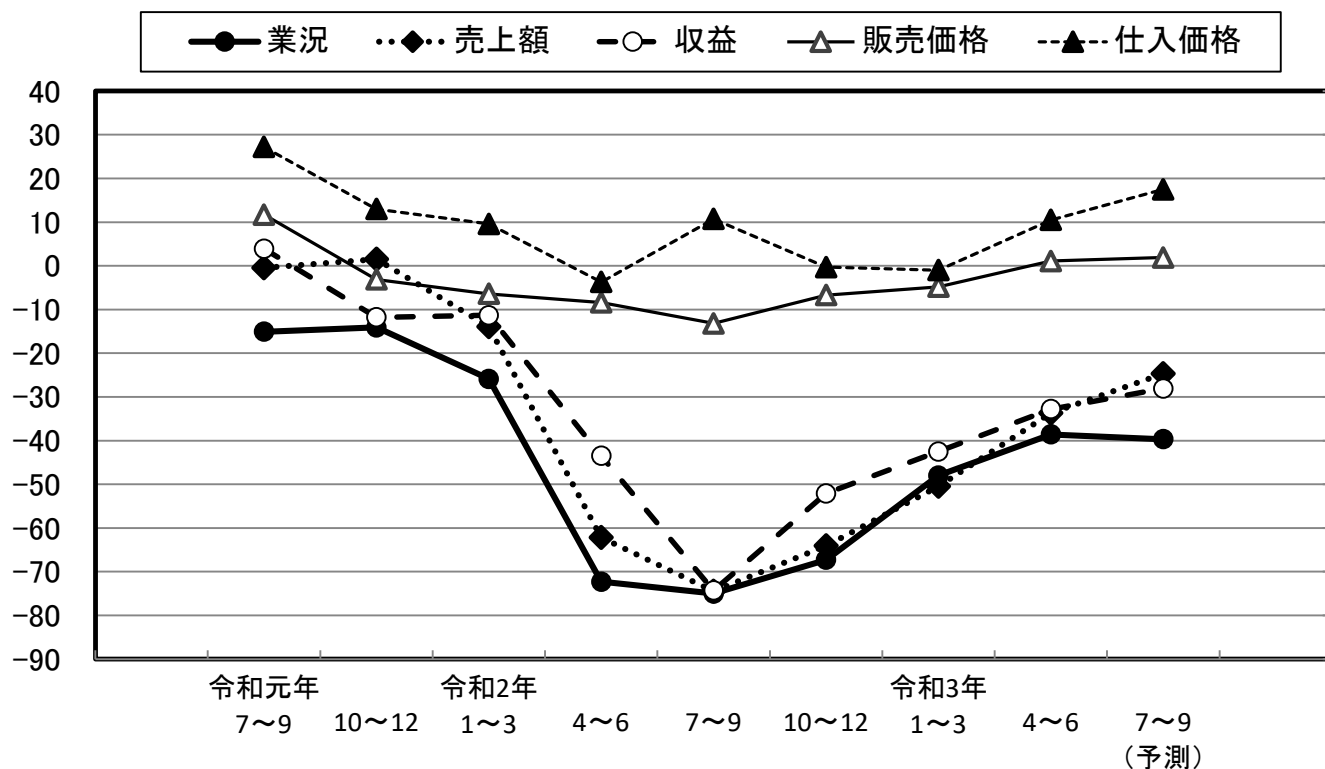
資金繰りは△11.3で17.3ポイント増と大幅に窮屈感が緩和し、借入難易度は9.6で0.9ポイント減と前期並の容易な状況となった。借入をした企業は19.0%で4.8ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は5.6%で0.8ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の厳しさで推移し、借入をする企業は大きく増加し、設備投資をする企業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

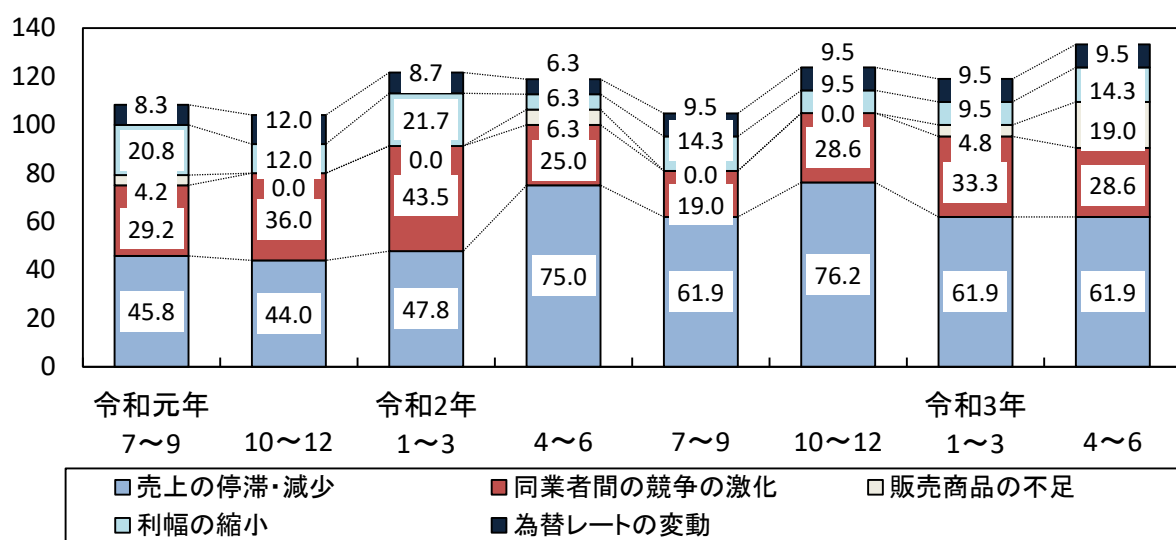
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で61.9%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で28.6%、3位は「販売商品の不足」で19.0%となった。以下、4位は「利幅の縮小」が14.3%、5位は「為替レートの変動」「取扱商品の陳腐化」「取引先の減少」「人手不足」がいずれも9.5%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で57.1%となった。次いで2位は「品揃えを充実する」「経費を節減する」がともに33.3%、3位は「人材を確保する」「情報力を強化する」がともに14.3%となった。以下、4位は「提携先を見つける」で9.5%、5位は「機械化を推進する」「流通経路の見直しをする」「取引先を支援する」がいずれも4.8%と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

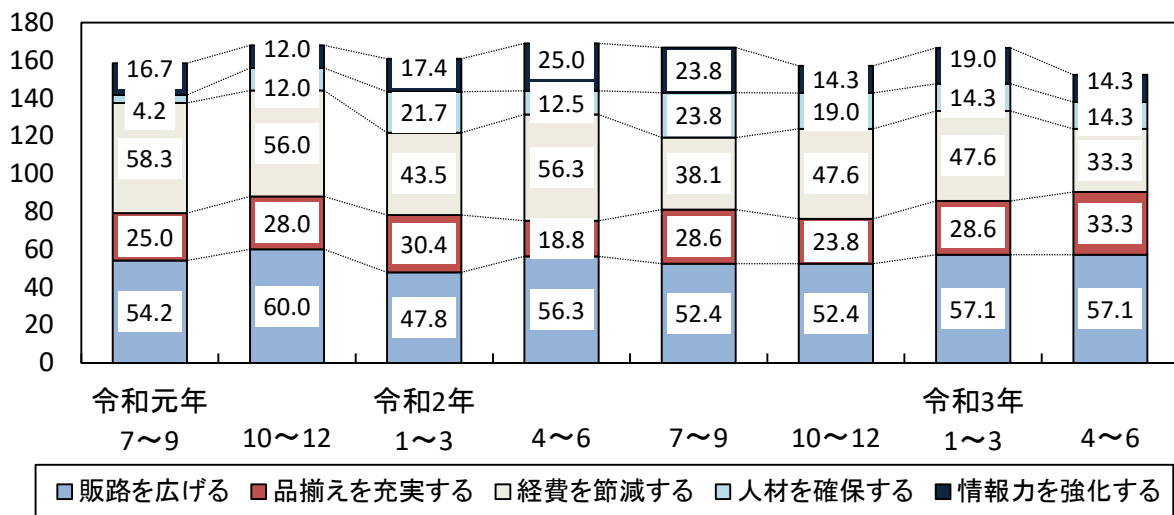


卸売業 経営上の問題点（％）



	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 61.9 %	売上の停滞・減少 76.2 %	売上の停滞・減少 61.9 %	売上の停滞・減少 61.9 %
第2位	同業者間の競争の激化 19.0 %	同業者間の競争の激化 28.6 %	同業者間の競争の激化 33.3 %	同業者間の競争の激化 28.6 %
第3位	取引先の減少 14.3 % 利幅の縮小 14.3 %	販売納入先からの値下げ要請 14.3 %	人手不足 14.3 %	販売商品の不足 19.0 %
第4位	為替レートの変動 9.5 % 取扱商品の陳腐化 9.5 % 人件費の増加 9.5 %	為替レートの変動 9.5 % 取引先の減少 9.5 % 利幅の縮小 9.5 %	為替レートの変動 9.5 % 利幅の縮小 9.5 %	利幅の縮小 14.3 %
第5位	人手不足 4.8 % 販売納入先からの値下げ要請 4.8 % 天候の不順 4.8 %	人手不足 4.8 % 取扱商品の陳腐化 4.8 % 人件費の増加 4.8 % 天候の不順 4.8 %	合理化の不足 4.8 % 小口注文・多頻度配送の増加 4.8 % 取扱商品の陳腐化 4.8 % 販売商品の不足 4.8 % 人件費の増加 4.8 % 取引先の減少 4.8 % 店舗の狭小・老朽化 4.8 %	為替レートの変動 9.5 % 取扱商品の陳腐化 9.5 % 取引先の減少 9.5 % 人手不足 9.5 %

卸 売 業 重 点 経 営 施 策 (%)



	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期
第1位	販路を広げる 52.4 %	販路を広げる 52.4 %	販路を広げる 57.1 %	販路を広げる 57.1 %
第2位	経費を節減する 38.1 %	経費を節減する 47.6 %	経費を節減する 47.6 %	品揃えを充実する 33.3 % 経費を節減する 33.3 %
第3位	品揃えを充実する 28.6 %	品揃えを充実する 23.8 %	品揃えを充実する 28.6 %	人材を確保する 14.3 % 情報力を強化する 14.3 %
第4位	人材を確保する 23.8 % 情報力を強化する 23.8 %	人材を確保する 19.0 %	情報力を強化する 19.0 %	提携先を見つける 9.5 %
第5位	新しい事業を始める 4.8 % 提携先を見つける 4.8 % 取引先を支援する 4.8 %	情報力を強化する 14.3 %	人材を確保する 14.3 %	機械化を推進する 4.8 % 流通経路の見直しをする 4.8 % 取引先を支援する 4.8 %

小 売 業

業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は△21.9 で前期比 24.2 ポイント増と極端に厳しさが和らいだ。売上額は△22.0 で 19.7 ポイント増と特に大きく改善し、収益は△17.7 で 17.5 ポイント増と大幅に持ち直した。来期の見通しについては、業況は低調感がやや強まり、売上額はかなり改善し、収益は減益幅が若干縮小する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 0.6 で 6.7 ポイント増と上昇に転じ、仕入価格は 0.3 で 0.2 ポイント増と前期並となった。在庫は 4.0 で 12.5 ポイント増と過剰に転じた。

来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向がやや強まり、仕入価格は上昇幅が大きく拡大し、在庫は過剰感が多少改善して適正水準となる見通し。

資金繰り・借入金・設備投資動向

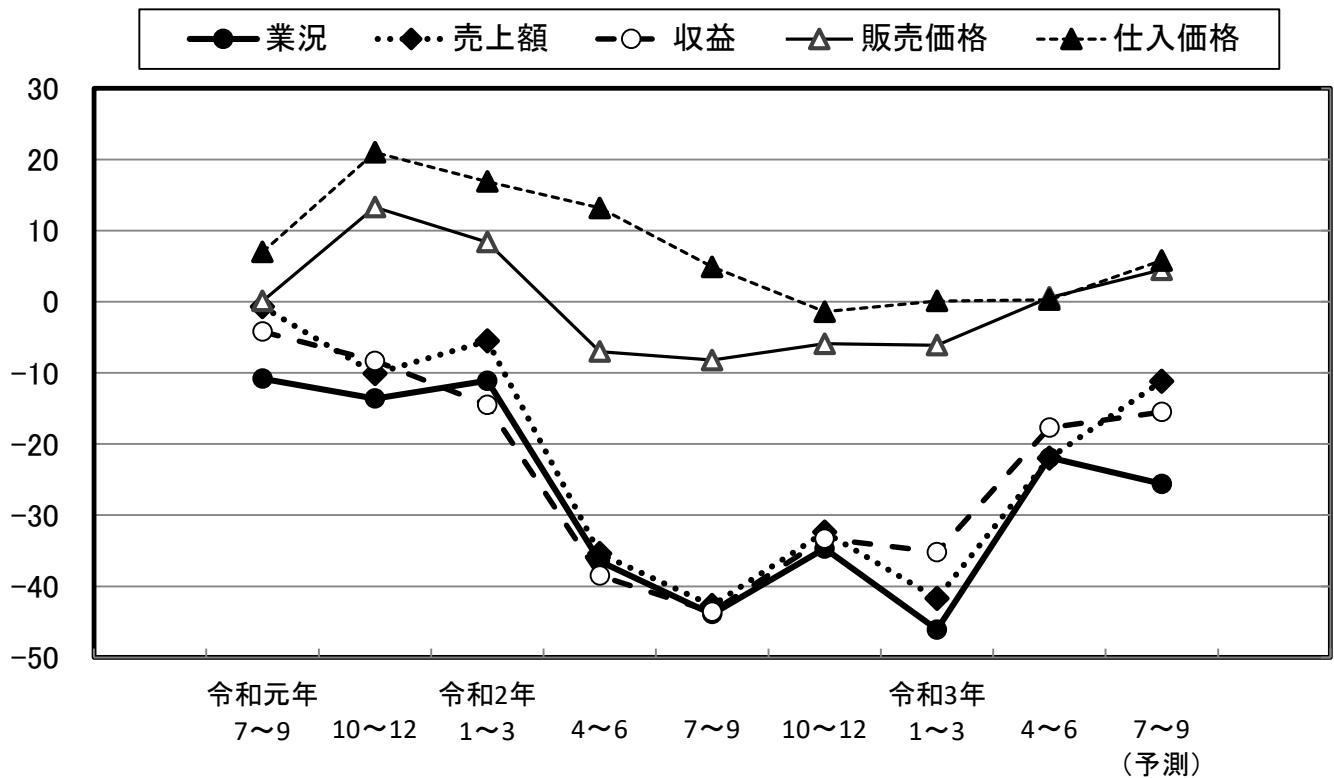
資金繰りは△13.8 で 15.5 ポイント増とかなり窮屈感が緩和した。借入難易度は 0.0 で 9.1 ポイント増と大幅に厳しさが和らいだ。借入をした企業は 21.6% で 2.7 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資をした企業は 5.6% で 2.9 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の厳しさを推移し、借入をする企業、設備投資をする企業はともに大きく減少する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

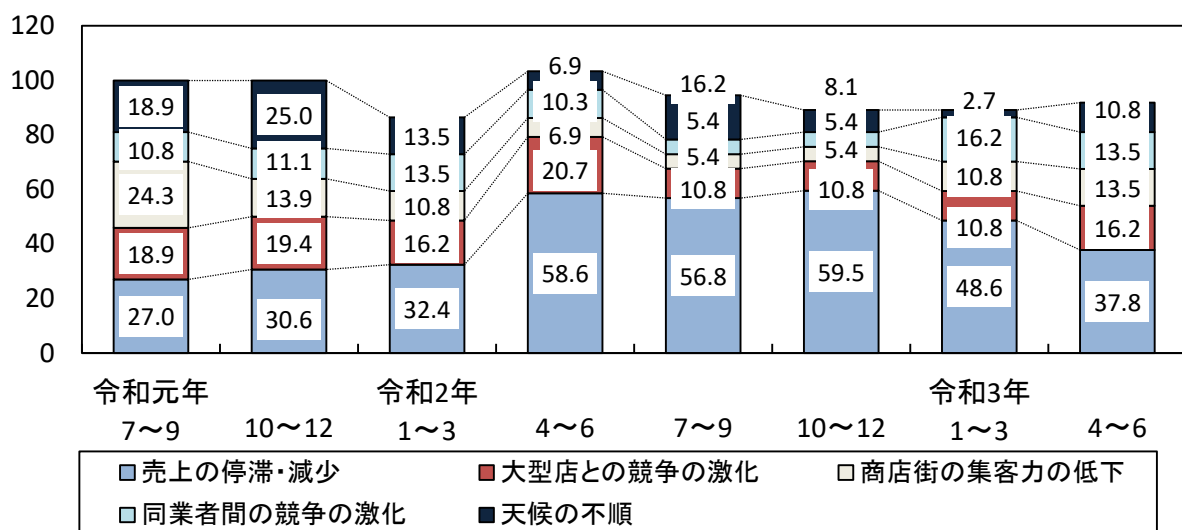
経営上の問題点については、1 位は「売上の停滞・減少」で 37.8%、2 位は「大型店との競争の激化」で 16.2%、3 位は「商店街の集客力の低下」「同業者間の競争の激化」がともに 13.5% となった。以下、4 位は「天候の不順」が 10.8%、5 位は「店舗の狭小・老朽化」が 8.1% と続いた。

重点経営施策では、1 位は「経費を節減する」で 32.4%、2 位は「品揃えを改善する」で 27.0%、3 位は「売れ筋商品を取り扱う」「宣伝・広告を強化する」がともに 16.2% となった。以下、4 位は「商店街事業を活性化させる」で 13.5%、5 位は「仕入先を開拓・選別する」で 8.1% と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

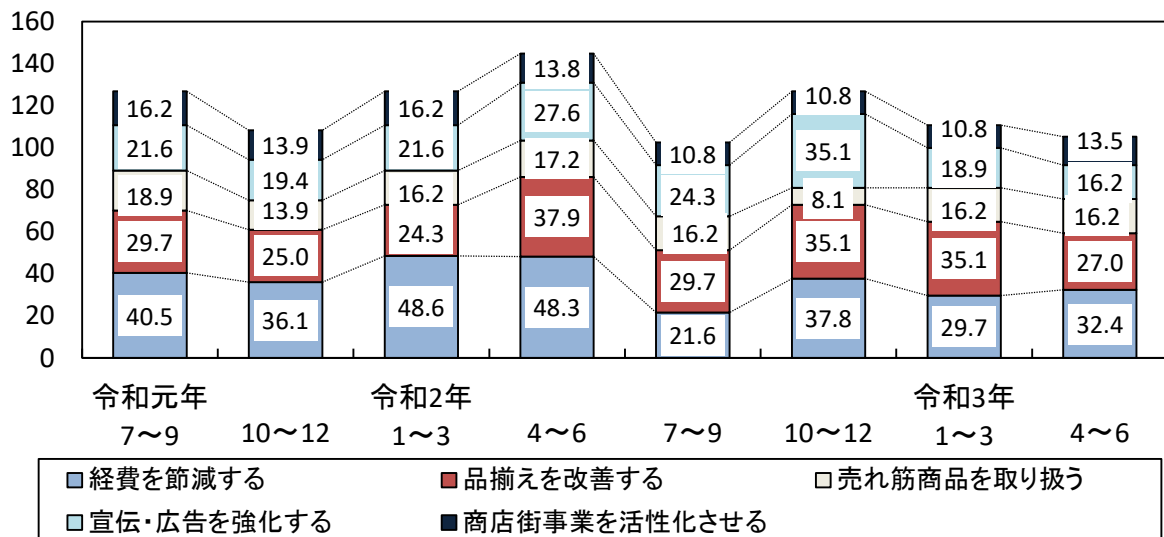


小売業 経営上の問題点（％）



	令和2年7月～ 9月期		令和2年10月～ 12月期		令和3年1月～ 3月期		令和3年4月～ 6月期			
第1位	売上の停滞・減少	56.8 %	売上の停滞・減少	59.5 %	売上の停滞・減少	48.6 %	売上の停滞・減少	37.8 %		
第2位	天候の不順	16.2 %	店舗の狭小・老朽化	10.8 %	同業者間の競争の激化	16.2 %	大型店との競争の激化	16.2 %		
	利幅の縮小	16.2 %	取引先の減少	10.8 %						
			大型店との競争の激化	10.8 %						
第3位	大型店との競争の激化	10.8 %	天候の不順	8.1 %	商店街の集客力の低下	10.8 %	商店街の集客力の低下	13.5 %		
			人手不足	8.1 %	大型店との競争の激化	10.8 %	同業者間の競争の激化	13.5 %		
			利幅の縮小	8.1 %						
第4位	取引先の減少	8.1 %	同業者間の競争の激化	5.4 %	人手不足	8.1 %	天候の不順	10.8 %		
	人手不足	8.1 %	取扱商品の陳腐化	5.4 %						
	仕入先からの値上げ要請	8.1 %	商圏人口の減少	5.4 %						
			商店街の集客力の低下	5.4 %						
第5位	同業者間の競争の激化	5.4 %	販売商品の不足	2.7 %	利幅の縮小	5.4 %	店舗の狭小・老朽化	8.1 %		
	販売商品の不足	5.4 %	人件費以外の経費の増加	2.7 %	仕入先からの値上げ要請	5.4 %				
	商店街の集客力の低下	5.4 %	代金回収の悪化	2.7 %	取引先の減少	5.4 %				
	店舗の狭小・老朽化	5.4 %	駐車場の確保難	2.7 %	店舗の狭小・老朽化	5.4 %				

小 売 業 重 点 経 営 施 策 (%)



	令和2年7月～9月期		令和2年10月～12月期		令和3年1月～3月期		令和3年4月～6月期	
第1位	品揃えを改善する	29.7 %	経費を節減する	37.8 %	品揃えを改善する	35.1 %	経費を節減する	32.4 %
第2位	宣伝・広告を強化する	24.3 %	宣伝・広告を強化する	35.1 %	経費を節減する	29.7 %	品揃えを改善する	27.0 %
			品揃えを改善する	35.1 %				
第3位	経費を節減する	21.6 %	商店街事業を活性化させる	10.8 %	宣伝・広告を強化する	18.9 %	売れ筋商品を取り扱う	16.2 %
							宣伝・広告を強化する	16.2 %
第4位	売れ筋商品を取り扱う	16.2 %	売れ筋商品を取り扱う	8.1 %	売れ筋商品を取り扱う	16.2 %	商店街事業を活性化させる	13.5 %
			仕入先を開拓・選別する	8.1 %				
第5位	商店街事業を活性化させる	10.8 %	店舗・設備を改装する	2.7 %	商店街事業を活性化させる	10.8 %	仕入先を開拓・選別する	8.1 %
	仕入先を開拓・選別する	10.8 %	機械化を推進する	2.7 %				
			人材を確保する	2.7 %				
			教育訓練を強化する	2.7 %				
			輸入品の取扱いを増やす	2.7 %				

サービス業

業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は△54.3で前期比2.5ポイント増と若干厳しさが和らいだ。売上額は△43.6で16.4ポイント増、収益は△46.8で8.2ポイント増とともに大きく減少・減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は多少上向き、売上額は減少幅が若干縮小し、収益は減益幅がかなり縮小する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は△2.7で6.4ポイント増と大幅に下降傾向が弱まり、材料価格は13.0で18.1ポイント増と上昇に転じた。来期の見通しについては、料金価格は今期同様の下降が続き、材料価格は上昇傾向がやや弱まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

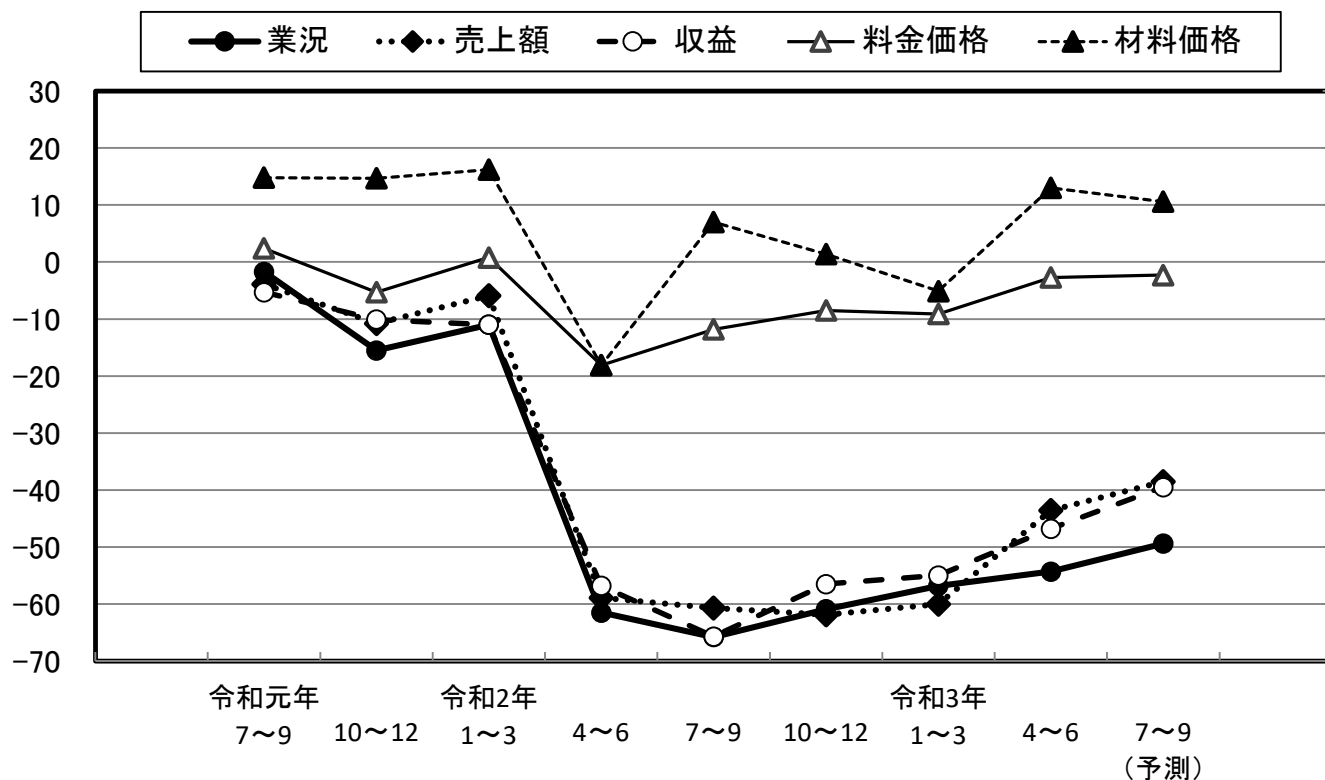
資金繰りは△20.4で9.9ポイント増とかなり窮屈感が緩和し、借入難易度は7.7で5.1ポイント減と多少容易さが縮小した。借入をした企業は12.5%と8.8ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は6.3%と8.9ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がやや強まり、借入をする企業は若干減少し、設備投資を実施する企業は幾分増加する見通し。

経営上の問題点・重点経営施策

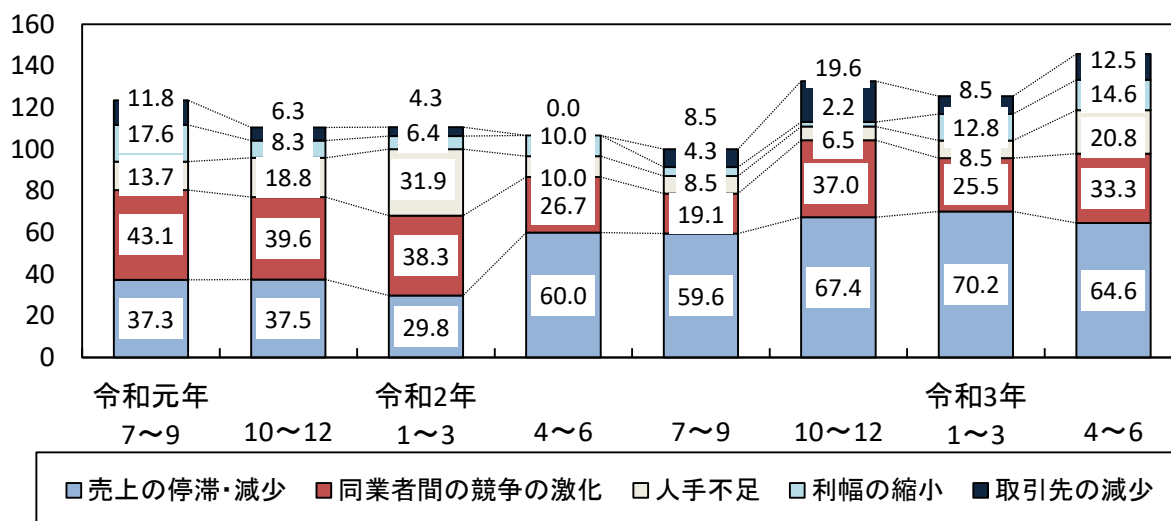
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で64.6%、2位は「同業者間の競争の激化」で33.3%、3位は「人手不足」で20.8%となった。以下、4位は「利幅の縮小」が14.6%、5位は「取引先の減少」で12.5%と続いた。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で52.1%、2位は「経費を節減する」で41.7%、3位は「宣伝・広告を強化する」で14.6%となった。以下、4位は「人材を確保する」「技術力を強化する」「提携先を見つける」がいずれも10.4%、5位は「教育訓練を強化する」で8.3%と続いた。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

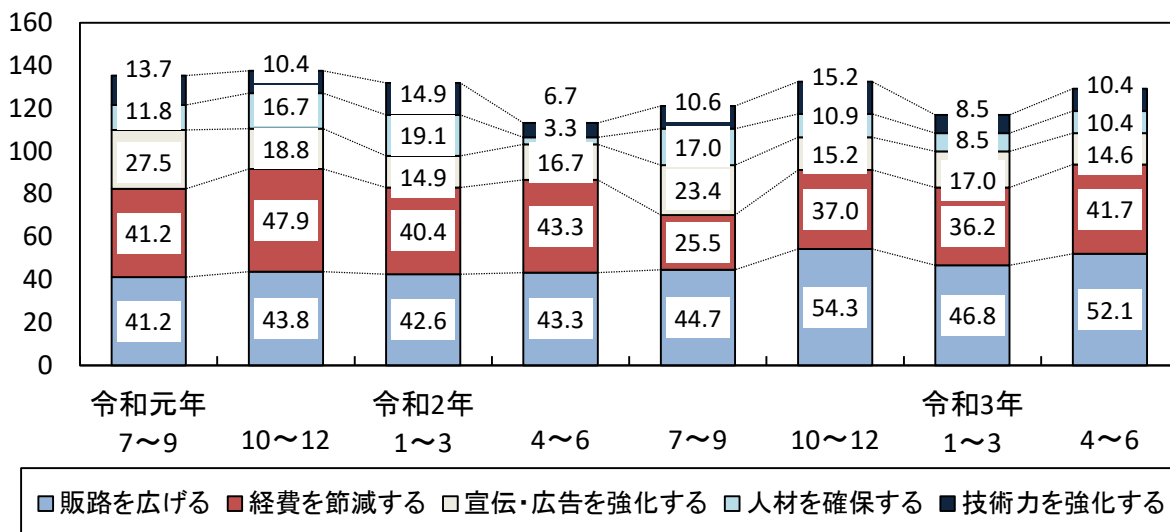


サービス業 経営上の問題点（％）



	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 59.6 %	売上の停滞・減少 67.4 %	売上の停滞・減少 70.2 %	売上の停滞・減少 64.6 %
第2位	同業者間の競争の激化 19.1 %	同業者間の競争の激化 37.0 %	同業者間の競争の激化 25.5 %	同業者間の競争の激化 33.3 %
第3位	人件費の増加 10.6 %	取引先の減少 19.6 %	利幅の縮小 12.8 %	人手不足 20.8 %
第4位	取引先の減少 8.5 % 合理化の不足 8.5 % 人手不足 8.5 %	人件費の増加 8.7 %	取引先の減少 8.5 % 人手不足 8.5 %	利幅の縮小 14.6 %
第5位	利幅の縮小 4.3 % 材料価格の上昇 4.3 %	大企業との競争の激化 6.5 % 人手不足 6.5 %	人件費の増加 6.4 %	取引先の減少 12.5 %

サービス業 重点経営施策（％）



	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期
第1位	販路を広げる 44.7 %	販路を広げる 54.3 %	販路を広げる 46.8 %	販路を広げる 52.1 %
第2位	経費を節減する 25.5 %	経費を節減する 37.0 %	経費を節減する 36.2 %	経費を節減する 41.7 %
第3位	宣伝・広告を強化する 23.4 %	技術力を強化する 15.2 % 宣伝・広告を強化する 15.2 %	宣伝・広告を強化する 17.0 %	宣伝・広告を強化する 14.6 %
第4位	人材を確保する 17.0 %	人材を確保する 10.9 % 提携先を見つける 10.9 %	店舗・設備を改装する 12.8 %	人材を確保する 10.4 % 技術力を強化する 10.4 % 提携先を見つける 10.4 %
第5位	労働条件を改善する 10.6 % 技術力を強化する 10.6 %	労働条件を改善する 8.7 %	提携先を見つける 10.6 %	教育訓練を強化する 8.3 %

建設業

業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は△10.3 で前期比 6.4 ポイント増と大きく悪化幅が縮小した。売上額は△25.3 で 2.9 ポイント減と幾分減少幅が拡大し、受注残は△17.8 で 8.8 ポイント増、施工高は△6.2 で 10.0 ポイント増、収益は△13.6 で 9.9 ポイント増といずれもかなり改善した。

来期の見通しについては、業況は若干上向く見込み。売上額は大きく持ち直し、受注残は減少幅がやや縮小し、施工高は今期同様の減少が続き、収益は減益幅が多少拡大する見通し。

価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は 0.1 で 5.7 ポイント増と上昇に転じ、材料価格は 20.4 で 4.1 ポイント増と多少上昇傾向が強まった。在庫は 1.4 で 4.3 ポイント増と過剰に転じた。

来期の見通しについては、請負価格は変動なく推移し、材料価格は今期並の上昇が続き、在庫は今期同様の適正水準となる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

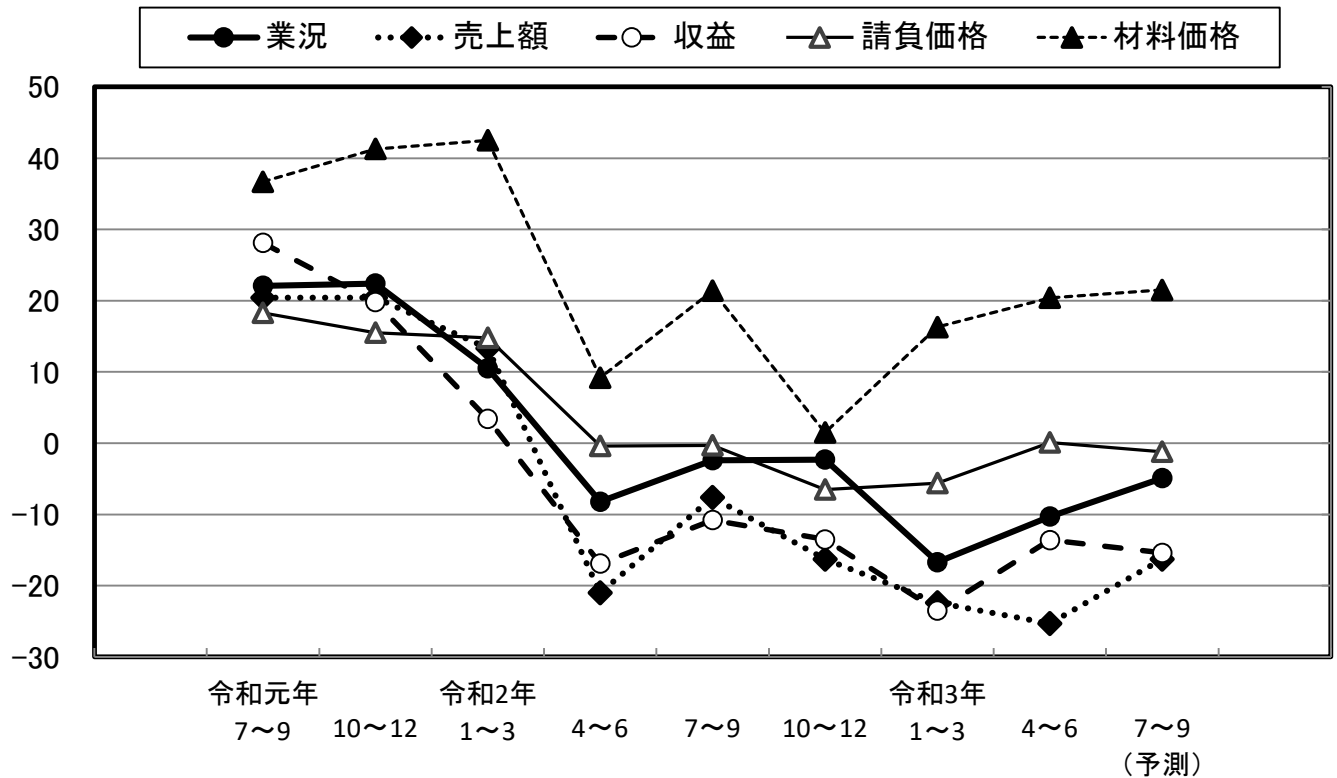
資金繰りは△9.2 で 5.0 ポイント減とやや窮屈感が強まり、借入難易度は 6.9 で 17.3 ポイント減と大きく容易さが縮小した。借入をした企業は 19.4%と 0.6 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 6.7%と 6.6 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がやや緩和し、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は大幅に増加する見通し。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 38.7%となった。次いで 2 位は「同業者間の競争の激化」「人手不足」がともに 32.3%、3 位は「材料価格の上昇」で 19.4%となった。以下、4 位は「人件費の増加」が 16.1%、5 位は「下請の確保難」が 12.9%と続いた。

重点経営施策は、1 位は「人材を確保する」で 35.5%となった。次いで 2 位は「経費を節減する」「販路を広げる」がともに 32.3%、3 位は「技術力を高める」が 22.6%となった。以下、4 位は「情報力を強化する」で 12.9%、5 位は「教育訓練を強化する」で 9.7%と続いた。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



建設業 経営上の問題点（％）

